

令和5年度 大阪府立牧野高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日 時 令和5年7月7日(金) 15:30~17:00

場 所 大阪府立牧野高等学校 校長室

出席者(敬称略)

協議会委員 松宮 新吾(会長)、有堀 正彦(副会長)、福原 哲晃、尾崎 順子

田中 博、大森 友美

学校長 高松 智

事務局 浦 俊哉、大道 香央利、大塚 正宣、中務 正和

1. 開会

① 会長・副会長の決定

*事務局案 会 長 松宮 新吾 委員

副会長 有堀 正彦 委員

⇒ 承認

② 会長挨拶

皆さまこんにちは。この度牧野高等学校学校運営協議会の会長を引き受けました。第1回運営協議会ということで、目的は昨年度の学校経営計画のフィードバックということと、それに基づいての経営計画の中身を検討していただくということになります。様々な立場で委員の皆さまは委嘱されているかと思えます。私も含めて微力ながら牧野高等学校の教育の改善、質的な向上に、少しでも貢献することができればというふうに考えております。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

③ 校長挨拶

皆さまこんにちは。校長の高松でございます。本日はお忙しいところ本校の運営協議会にご出席いただきまして本当にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類に分類されて、学校もようやく以前と同じような教育活動ができるようになりました。5月31日に本校で行った体育祭では、天候にも恵まれて、800名ほどの保護者が見学・応援に来られ、生徒たちのパフォーマンスに大きな拍手と声援を送ってくださいました。また、昨日試験も終わり夏休みが7月21日から始まります。夏休み中も夏期講習や部活動の合宿など多く予定されており、2学期に行われる文化祭の準備をするクラスもあります。10月には九州方面への修学旅行があり、1学期の様子を見ていると、特に問題なく行えるのではないかというふうに思っております。

本日の協議会では、学校教育法施行規則で策定が義務付けられました「スクールポリシー案」や今年度の「学校経営計画及び学校評価」についての説明、また今年3月に卒業した3年生の進路状況などをお話させていただきます。

皆さまからのアドバイスをいただき、より良い学校運営に役立てたいと思っております。どうぞせっかくの機会ですので、忌憚ないご意見をお願いしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2. スクールミッション及びスクールポリシーについて

●会長・・・スクールミッション及びスクールポリシーについてご説明いただきたい。

●校長・・・

スクールミッションとは、各校の大きな教育理念を表したもので、概ね10年スパンで見直すということになっている。「教育指針「自尊・自浄・自助」の精神を身につけ、多様化・国際化する社会で、個性を活かし、自らの使命を果たせる人物を育成する」これが本校のスクールミッション、すなわち大きな教育理念ということになる。

スクールポリシーは、スクールミッションを実現するための教育活動の方針のことで、各高校の入学から卒業までの教育活動の指針ということになる。具体的には「グラデュエーション・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」の3つを策定・公表することになる。

「グラデュエーション・ポリシー」とは、卒業後を見据え、学校教育活動を通じて、生徒にどのような資質能力の育成をめざすのかを定める基本的な方針のことで、学校経営計画や学校教育計画に記されているめざす学校像や教育目標から4つに整理した。「カリキュラム・ポリシー」とは、グラデュエーションポリシーを達成するために、どのような教育課程を編成し、実施し、学習評価を行うのかを定める基本的な方針のことで、学校教育計画の学習指導の方針や学校案内に書いて授業内容から3つに整理した。「アドミッション・ポリシー」とは、入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針のことで、本校の概要を記すとともに、本校が求める人物像については、公表している入試アドミッションポリシーから4つに整理した。

今後のスケジュールとしては、8月末までに教育庁へ案を提出、その後9月から12月にかけて文言等について教育庁と調整を行い、年内に教育庁の案が示されその後、各校のWebページで公表することになる。

⇒ 承認

3. 令和4年度学校経営計画及び学校評価について・・・学校長より説明

- 会長・・・最新版にアップデートされている部分の説明をいただきたい。
- 校長・・・昨年度第3回の本協評議会で示した資料に、未確定であった大学入試の結果等を新たに記載し、自己評価については色分けするなどの工夫をして記載している。

4. 令和5年度学校経営計画について・・・学校長より説明

- 会長・・・総合的な学習の時間に取り組みされた「枚方市長への提言」の内容について説明をいただきたい。
- 校長・・・昨年度の3年生が総合的な探究の時間において、「信号のない横断歩道における交通ルールの周知徹底」という提案を市長の前で行い、これをもとに枚方市交通対策課が企画をつくり、イーデザイン損保の逆プロポに応募したところ、同社に採択され実現した。本校生と交通対策課が連携して「信号のない横断歩道で車に一時停止してもらうにはどうしたらいいか」という課題に、仮説を立て、信号のない横断歩道で検証を重ねたところ、歩行者が手をあげると停止率が約4割上昇することがわかった。この実証結果をもとに、交通対策課が、生徒がデザインした信号のない横断歩道では手をあげることを推奨する啓発ポスターを作成され、京阪枚方市駅に掲示された。また、そのポスターがラッピングされた路線バスが、枚方市内を一定期間運行されることになっている。

⇒ 承認

5. 令和6年度教科書採択事務について・・・教頭より説明

⇒ 承認

6. 第45期生（令和5年度3月卒）進路結果・・・進路部長（中務首席）より説明

- 委員・・・立命館大学への進学が減った理由を教えてください。
- 事務局・・・立命館大学の分散されているキャンパスの問題が原因の1つかと考えている。茨木キャンパスに一部の学部が移転したり、琵琶湖キャンパスへのアクセスなど立地的な問題が要因の1つではないかと考えている。

7. 協議

- 委員・・・観点別評価の評価基準を可視化できるような学校独自の取り組みがあれば教えていただきたい。
- 事務局・・・可視化するところまで進んでいない。昨年度から実施されたが、問題が生じればその都度その都度修正しながら行っているのが現状である。
- 委員・・・バスの中でも集中して勉強をしている生徒や、自転車マナーをきちんと守る生徒が数多く在籍している学校なので、モラルの高い学校を維持し続けていただきたい。
- 委員・・・大阪弁護士会からの法教育の出張事業については、今年度もぜひ活用していただきたい。
- 委員・・・自転車通学について、特にヘルメットの着用や雨の日のマナーについてはどのような指導しているのか教えていただきたい。
- 事務局・・・登校時は、怪我を防止するために学年ごとに時差をつけ登校させる工夫を行っている。雨天時のマナーについては、入学時にレインコートを購入し着用することを前提として自転車通学許可書を発行している。ヘルメット着用については、努力義務ではあるが怪我防止のために推進していく。

8. 連絡

第2回の協議会は12月上旬、第3回の協議会は2月上旬で予定。

⇒ 承認

9. 閉式

学校長よりお礼